

# よつ & WALK

in 高崎市

— マンホールカードで巡る群馬の旅② —



最新設備を備える高崎芸術劇場の大劇場

## 音楽のある街・高崎へ



高崎市の楽器マンホール  
設置場所：高崎芸術劇場付近 (6種類・12ヵ所)

高崎のまちなかで、ほべたんが見つけたのは楽器が描かれたマンホール。ヴァイオリンにトロンボーン、チェロ、ピアノ…「どんな音がするのか」とワクワク。

高崎芸術劇場周辺の歩道には、楽器デザインのマンホールが点在。中には、高崎出身のギタリスト・布袋寅泰さんのトレードマーク「ギターリズム柄」を取り入れたデザインも。マンホールカード化はされていませんが、音楽を感じる楽しい仕かけに出合えます。



移動音楽教室

高崎は地方で初めてプロのオーケストラが生まれた街です。1945年、終戦直後の混乱のさなかに「文化の力で新しい社会を」と掲げ、群馬交響楽団の前身、高崎市民オーケストラが誕生しました。楽団は「移動音楽教室」を始め、県内各地の学校



ほべたん、高崎オーパ前の  
ストリートライブへ

開かれています。

音楽はホールの中だけではありません。「高崎おとまちプロジェクト」は、プロ・アマを問わずミュージシャンがまちなかで演奏できる取り組み。日曜には駅前でストリートライブも行われ、ポップスやカントリー、ジャズなど、さまざまな音楽が街を彩ります。6月には、大型音楽イベント「タカサキシティロックフェス」が開催。街全体が音楽に包まれるこの機会に訪れてみませんか。

へ。山あいの小さな学校にも足を運び、子どもたちにもオーケストラの音を届けました。

1955年、楽団の奮闘を描いた映画「ここに泉あり」が全国でヒット。高崎市民の間で音楽への関心が高まり、1961年には



群馬音楽センター

市民の寄付に支えられて群馬音楽センターが建設されました。音楽をはじめとする芸術活動に活用され、今も高崎の文化を象徴する存在です。ほべたんは、名建築として知られるアントニン・レーモンド設計の建物を見学。新しい芸術活動の拠点となるのが、高崎芸術劇場です。ガラス張りの建物の中には、4階までの吹き抜け空間。群馬交響楽団の演奏をはじめ、世界各国の一流アーティストによる公演が行われ、クラシックからロックまで多彩な音楽を楽しめます。0歳からのコンサートもあり、多くの人に

## 編集だより

取材中のランチは劇場内で。公演前後にも立ち寄りやすく、明るくゆったりとした空間で軽食から本格料理、スイーツまで楽しめます。華やかなアフタヌーンティーは、スコーンやケーキ、ジェラートを紅茶とともにいただける人気メニュー。次はゆつくり楽しんでみてください。



シアターカフェ&レストラン  
住所…高崎市栄町9-1高崎芸術劇場1階  
TEL…027-328-2019  
営業時間…カフェ/11:00~19:00  
レストラン/要予約

**TAKASAKICITY ROCK FES.2026**  
開催日：6月27日(土)-28日(日)  
会場：高崎芸術劇場 Gメッセ群馬 高崎アリーナ  
出演者：yama/キョウソノコカミ/ヤングスキニー/moon drop 他  
チケット：チケットぴあで販売  
HP: [takasakicity-rockfes.com/2026](http://takasakicity-rockfes.com/2026)

※掲載した店舗・施設は、定休日以外に臨時休業となる場合もあるので、ご了承ください。  
※一部取材先より画像をお借りしています。